



河小だより

四日市市立河原田小学校

第10号 8月30日31日

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。久しぶりにクラスの友だちと再会し、笑顔がはじけ、会話を楽しんだり、夏休みの思い出を交流し合ったり……。そんなにぎやかで楽しい2学期のスタートを想像していました。しかし、新型コロナウイルス感染症陽性者数の爆発的な増加や、小中学生や高校生など若い年代の人たちへの感染も増えており、また、三重県にも緊急事態宣言が出される中、2学期のスタートは異例の形となってしまいました。通常の形でスタートできなかったことは、大変残念ですし、不安を感じている方もみえると思いますが、学校内での感染防止を最優先し、保護者の皆様のご協力を得ながら、精一杯進めていきたいと考えています。ご心配やご負担をおかけしますが、ご協力をお願いします。また、分散登校に関して、急な変更でご迷惑をおかけしたことをお詫びします。今後も感染状況によっては変更することもあろうかと思いますが、ご理解のほどよろしくをお願いします。

● 家庭でのオンライン学習等を実施します。

四日市市では、9月1日（水）から10日（金）まで、家庭でのオンライン学習等を実施することとなりました。これは、児童生徒への感染拡大を防ぐとともに、可能な限り教育活動を行い、学びの保障を行うためのものです。児童一人ひとりに渡っているタブレットPCを活用し、オンラインで授業を行います。最初のZOOMの接続の段階で、保護者の皆様にご協力をお願いすることがあるかも知れませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。ただ、初めてのことで、手探りのところもあります。やってみて変更することもあろうかと思えます。何かお気づきの点があれば遠慮なくお知らせください。今ある環境下で、できることを精一杯行い、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。

★家庭でのオンライン学習等の方法については、「新型コロナウイルス感染症に係る家庭でのオンライン学習等の実施について」を参照してください。

★オンライン学習の様子を写真に取り、SNS等に掲載するなどの行為は、個人情報保護の観点からやめてください。ご家庭でもご指導ください。



8/25 オンライン学習がスムーズにいくよう、設定の仕方や授業についての研修会の様子

● 当面の予定、変更点について

9月10日までのオンライン学習等の実施により、いくつか変更点が出てまいりました。現時点で、以下のように考えています。

- ◎ 【運動会】9月23日（木・祝）に運動会を実施する予定でしたが、10月30日（土）に延期します。（11月1日が代休となります。）したがって、9月23日（木・祝）はお休みです。これに伴い、代休を予定していた9月27日（月）は通常通りの授業を行います。給食はあります。
- ◎ 【下校時刻】9月7日（火）に予定していた5・6年生対象の委員会を13日（月）に行います。そのため13日の下校時刻に変更はありません。22日（水）は運動会の準備がなくなりましたので、通常の水曜日の下校時刻（全学年14:00）となります。27日（月）は通常の月曜日の下校時刻（1,2年14:00 3,4年14:50 5,6年15:10）となります。学年通信の行事予定で確認してください。
- ◎ 【施設の開放】感染拡大防止のため、運動場や体育館の開放は行いません。

- ◎ 【給食費】 9月10日までの給食が休止となります。この期間の給食費については、処理の都合上、10月以降の給食費で調整させていただきます。
- ◎ 【校内作品展覧会】 学校が通常に再開した後、感染の状況を見て展示の仕方を検討します。保護者への公開は行いません。

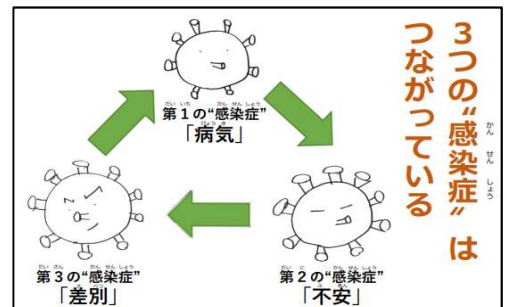
● コロナウイルス感染防止対策について

「マスクを正しくはめる」「よく手を洗う」「友だちと近づきすぎない」「暑いときはマスクをはずしていけど、マスクなしの時は近い距離で話をしない」「人が多いところにはできるだけ行かない」など、基本的な感染防止について、お子様にお話してください。また、1学期に引き続き、以下の点にご協力ください。

- ◎ お子さんに発熱等の症状がある場合には、自宅療養をさせてください。
- ◎ 同居家族に発熱等の症状がみられる場合は、お子さんの登校を控えてください。
- ◎ 同居家族や近親者が検査対象となった場合は、学校まで連絡をしてください。
- ◎ お子さんまたは同居家族が濃厚接触者または陽性となった場合は、保健所の指示に従って下さい。
- ◎ 休日の朝に発熱し、夜に平熱になっても、翌日は登校を控えてください。
- ★ 保護者の皆様にはご負担をおかけしますが、感染拡大を防止するため、ご協力をお願いします。

感染拡大防止対策も大切ですが、コロナウイルスの別の側面の対策も大切にしていきます。それはコロナウイルスが引き起こす「不安」と「差別」です。コロナウイルスについては少しずつ解明されてきていますが、まだまだ分からないことが多く、また、ウイルスは目に見えないので人々の心に不安をもたらします。この不安を解消するために、本来の敵である「ウイルス」ではなく、目に見える「人」に攻撃対象がすり替わってしまうことがあります。「人」を攻撃することで不安を解消しようとするのですが、根本的な解決に至らないどころか、不安をあおったり、人の心を傷つけたり、人とのつながりを断ち切ってしまうたりと、かえって悪い状況におちいってしまいます。また、ワクチン接種についても、様々な事情により接種しない方、接種できない方もみえます。その方々へ「差別」があってはなりません

学校でも感染症対策に加え、仲間づくりや人権学習をていねいに進めていきます。ご家庭でもお話しいただければ幸いです。なお、右のイラストは日本赤十字社のHP「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」からの引用です。HPには動画もありますので、時間があるようでしたら、お子様と一緒にご覧ください。



● 「ありがとう」と「当たり前」

「ありがとう」という言葉はとても素敵な言葉で、校長先生が大切にしている言葉のひとつです。この「ありがとう」の言葉の成り立ちを知っていますか。「ありがとう」はもともと「ありがたし」という言葉からできた言葉です。漢字にするとわかるように「有ることが難しい」つまり「めったにない」「存在することがめずらしい」という意味です、これが転じて「めったにないことがあり、感謝する」「またとなくらい尊い」という意味になりました。また、「ありがとう」の言葉の反対語は何だと思いませんか？ 「有ることが難しくない」つまり「当たり前」が「ありがとう」の反対語です。

学校がある日は、「当たり前」に登校し、顔を合わせ、声をかけたり、みんなで楽しくおしゃべりしたり、みんなで一生懸命勉強したり、みんなで力を合わせて1つのものを創り上げたり…。そんなことは「当たり前」のことだと思っていましたが、実は「当たり前」ではなく、「有り難い」ことだと気づかされます。13日(月)から学校での通常の授業を予定しています。友だちと過ごす日々は「当たり前」ではなく実は「有り難い」ことで、友だちと一緒に何かできることに常に「ありがとう」という感謝の気持ちを持ってみなさんであってほしいと思います。(2学期の始業式で子どもたちに話そうと思っていた内容です。)